ポスター発表

2025年11月2日(日) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P2] ポスター発表 #2

[P2-11] GPSログデータに基づく都市公園利用の社会経済的格差：仙台市における空間解析

*鈴木 善遥[1]、中谷 友樹[2]、磯田 弦[1] (1. 東北大学大学院理学研究科、2. 東北大学大学院環境科学研究科)
キーワード：都市公園、GPS、環境の不公正

都市公園は都市居住者に対して、運動や休息、社会的交流の機会をもたらすことが知られている。しかし、都市居住者はその機能を平等に享受できておらず、公園アクセスにみられる社会経済的な格差が環境の不公正の1種として報告されてきた。しかし、これまで公園アクセスの多くは、居住地と公園との距離に基づいて計測されることが多く、公園を実際に利用したかは考慮されることが少なかった。そこで、本研究ではGPSログの軌跡データを公園領域と交差判定することで公園訪問の実態を捉え、居住地と公園の位置関係と公園訪問の時空間的関係や、居住地に基づいた公園訪問の有無・頻度の地域差を検討した。仙台市を対象に大規模GPSログデータ（コロナ流行前の2019年10月約2.4万人、コロナ流行期間中の2021年10月の約1.9万人分のデータ）を利用して、都市公園利用の実態とその社会経済的格差について検討した結果を報告する。

©一般社団法人地理情報システム学会